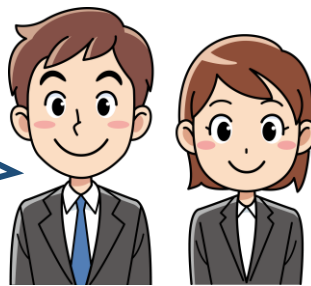


生活支援コーディネーターが 支え合いの地域づくりをお手伝いします

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業、関係機関など地域の色々な立場の方が連携を図り、高齢者の地域での生活を見守り、支える仕組みづくりを進めます。

社会福祉法人二本松市社会福祉協議会は二本松市から「二本松市生活支援体制整備事業」を受託し、二本松市内全域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、住民主体による生活支援や介護予防サービスの充実が図られるよう、支え合いによる地域づくりを推進します。

地域のつながり・支え合いは「**住み慣れた地域で暮らすために**」大切なものです。



みなさんと一緒に、地域のいいところ、心配なところを話し合いながら、**理想の地域づくり**をお手伝いします。

生活支援コーディネーターの役割

地域の宝物(資源)の把握

サロンや地域の活動(様々な団体の会合や事業)、日々の営みにまぜてもらい、地域にある自然な支え合い活動などの地域資源を把握する。

地域の宝物(資源)を見える化

地域の支え合い活動について、広報誌や活動を通して地域に伝え共有して行く事で、支え合いの価値を明らかにしたり、地域住民への理解に繋げる。

困りごとと課題の把握

積極的に地域への訪問活動により地域課題の情報収集に努め、地域の課題を把握し、地域支援に繋げる。

関係者とのネットワーク化

地域住民(高齢者)に対する支援を行っている関係機関と定期的に情報交換をしながら、地域の課題や社会資源を共有すると共に、お互いの活動を理解し、連携・協力出来る体制を構築する。

地域で話し合いの場をつくる

活動を通して抽出された地域の課題に基づき地域住民、地域団体、関係機関等に参画してもらい5年・10年先の将来の地域の姿を話し合う場(協議体)をつくる。

支え合い活動の取り組みの創出

地域をもっと良くするため、住民のみなさんと、地域の高齢者がその人らしく、地域で暮らし続けるための生活支援をつくり出せるようにする。

生活支援コーディネーターは、どんなことをしているの？

地域の集まりに出席し、「地域のつながり・支え合い」の重要性について、地域の様々な活動に触れながら、説明する機会を積極的に作っています。

話を聞いてみたいというサロン、老人クラブ、ボランティア団体、社会福祉法人等がありましたらお気軽にお声がけください。



地域住民の方が育ててきた支え合いの活動、生活の中で利用することができるもの、地域のサロンや通いの場等の地域の資源（宝物）を皆様に周知するため、広報紙「社協だより」の中で「地域の宝物みつけた！」のコーナーを設け、様々な活動を紹介しています。

社協だよりは隔月発行し、市内に全戸配布しています。又、「うちの地域の活動を載せたい！」ということがありましたら、ぜひご連絡ください。

地域づくりに関心のある方、地域で活動している方など多種多様な住民の方々にも参加してもらい、地域の支え合いの仕組みづくりに向け、今やっていることや無理なくできること、「こんな地域にしたい！」という話し合いの場づくりを進めていきます。



まずはお気軽にご連絡ください！

社会福祉法人 二本松市社会福祉協議会

〒969-1404 二本松市油井字濡石 1-2 (市役所安達支所内)

電話：0243-23-7867 FAX：0243-23-9046